

すーちゃん

スイカ

手塩にかけたひと玉には絶対の自信あり



スイカは、寛永年間に中国から伝わったと言われています。また、成分には「カリウム」やアミノ酸の一種である「シトルリン」が含まれており、その作用により、むくみや利尿作用に効果があるそうです。

山口県では、県内の畑地帯を中心に栽培が行われています。中でも県内最大の産地である萩市相島では、昭和30年代から栽培が始まり、現在はハウスを活用しながら栽培も行われています。

また、一部の産地においてはエコやまぐち認証制度やエコファーマーの取得など環境にやさしい農業への取組みを進めています。

🍉 選び方

果皮に張りがあり、緑と黒のコントラストがはっきりとしていて、ツルとは反対側のお尻の薄茶色の部分(果頂部)が小さいものが良いスイカとされています。

しま模様のコントラストがはっきりしている方が
良いスイカ



少し冷やして
かぶりっころ!

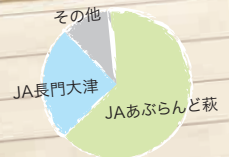
👁️ 注目

相島のスイカはなんと言ってもすっきりとした甘みが自慢です。糖度は平均で約12.5度となっており、しっかりとした味を堪能することができます。



🗺️ 主な産地

萩市、阿武町、長門市



🕒 出荷量 (H25年全農共販実績) 500t

🌱 主な品種

祭りばやし777、紅大

🚚 出荷時期

5月下旬～8月

